TOMO DACHI

TOMODACHIイニシアチブ 2013年活動報告書

U.S.-JAPAN COUNCIL

UNITED STATES OF AMERICA EMBASSY

www.usjapantomodachi.org/ja

ご挨拶

親愛なる友人の皆様

この度、2013年にTOMODACHIイニシアチブが実施したプログラムまた各プログラムが参加者に及ぼしたポジティブなインパクトについて皆様にご報告できる運びとなりましたことを、在日米国大使館ならびに米日カウンシルを代表して、大変誇らしく思います。

日米両国は、強く、永続的なパートナーシップで結ばれており、この強固なパートナーシップは両国の人と人との絆の強さの表れでもあります。

2011年の東日本大震災の直後、在日米国大使館と米日カウンシルは官民パートナーシップ「TOMODACHIイニシアチブ」を創設し、被災地の若者が米国と繋がりを持ち、また米国の若者が東北の被災地と繋がりを持つ支援をする役割を継続的に果たしています。TOMODACHIは、東北地域の支援を継続する一方で、昨今は活動を全国的に展開し、日米の若者同士の交流の活性化、拡大に貢献しています。

2013年、TOMODACHIは数千人もの人々に影響を与え、交流プログラムに参加した数百人もの人々に、人生の転機ともなる経験を与えることができました。参加者は、学生から様々な専門職に就く若者にまでおよび、非営利団体の指導者育成から、女性のエンパワーメント、スポーツ、音楽などにフォーカスしたプログラムに参加する機会が与えられました。

TOMODACHIは、新たなプログラム参加者を迎えるだけでなく、プログラム経験者（アラムナイ）がプログラムや活動を通じて、アラムナイ同志のつながり、また互いの国とのつながりを維持することができるように、プログラム経験者との関係を大切にしています。

日米両国の数多くの企業による多大なご支援に対し、心から深く感謝しております。民間の皆様からのご支援のお蔭で、日米関係に、新たなエネルギーや刺激を与えることができています。またそういった支援を基盤に、新しいプログラムやパートナーが加わり、多方面にわたる新たな展開が期待できます。

若者と「TOMODACHI世代」の未来に対する私たちのコミットメントに賛同して下さっている皆様に、心から感謝申し上げます。

キャロライン・B・ケネディ
在駐日米国大使

アイリーン・ヒラノ・イノウエ
米日カウンシル会長

TOMODACHIイニシアチブについて

使命

TOMODACHIイニシアチブとは、東日本大震災後の日本の復興支援から生まれ、教育、文化交流、リーダーシップといったプログラムを通して、日米の次世代のリーダーの育成を目指す官民パートナーシップです。

ビジョン

日米関係の強化に深く関わり、互いの文化や国を理解し、より協調的で繁栄した安全な世界への貢献と、そうした世界での成功に必要な、世界中で通用する技能と国際的な視点を備えた日米の若いリーダーである「TOMODACHI世代」の育成を目指しています。

背景

2011年3月11日の東日本大震災の発生を受け、米軍と自衛隊は「トモダチ作戦」を通じて東北地方への緊急人道救援活動で協力し、成功を収めました。この時の協力と友情の精神を基盤に、米国と日本はTOMODACHIイニシアチブを開始しました。TOMODACHIは在日米国大使館と公益財団法人 米日カウンシルージャパンが主導し、日本政府および日米の企業、団体、個人から支援を受けています。

TOMODACHIプログラム

教育プログラムは、短・中・長期的な留学体験などを通じ、互いの文化に触れることで日米両国の若者の交流を活性化また拡大し、彼らの人生に刺激を与えるものです。

文化交流プログラムは、スポーツ、音楽、芸術において日米両国の若者が互いの文化や技術を学び、彼らの将来に繋がるきっかけを提供するものです。

リーダーシッププログラムは、次世代リーダー候補と起業家に対し、彼らを成功へ導くためのスキルや、専門知識の提供をはじめ、資金調達を可能にするためのサポートを行います。

「TOMODACHIイニシアチブは、画期的な官民パートナーシップです。日米の次世代のリーダーに投資をするものです。私が出会った学生たちは生き生きしており、話が面白く、元気をもらえる人たちでした。皆、好奇心旺盛で、私たちが共有する未来や世界の問題に関心を持っていました。」

2013年4月訪日
ジョン・ケリー米国国務長官のメッセージ

2013年 TOMODACHI 活動早見表

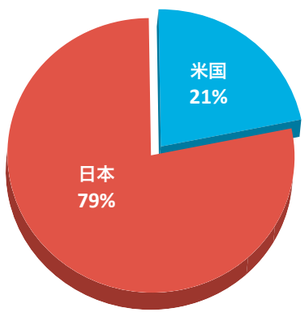
2013年プログラム開催地

2013年 TOMODACHI プログラム参加者数：1,095 名
2013年 TOMODACHI イベント＆プログラム参加者数：7,142 名

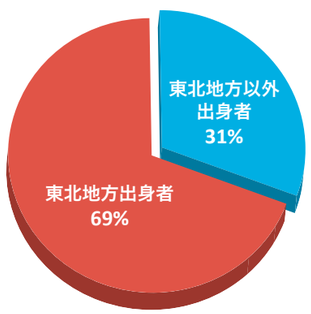
東北地方を中心に、
活動を広範囲に拡大

米国人参加者の90%が
日本でのプログラム参加中に
東北地方を訪問

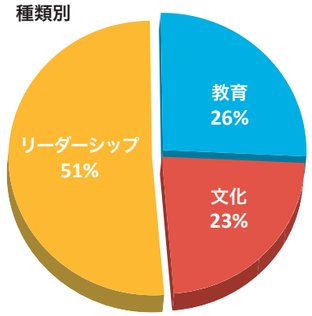
2013年参加者数：出身国別



2013年日本人参加者内訳



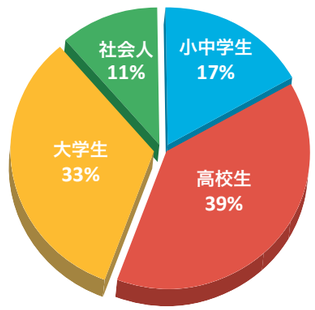
2013年TOMODACHIプログラム：
種類別



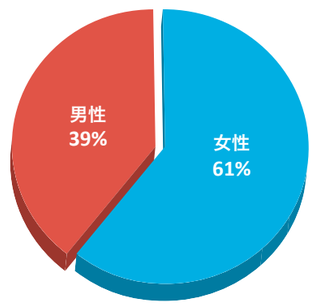
日米関係に若者たちの
新しい声を取り入れる

若い女性の積極的参加

2013年参加者数：年齢別



2013年参加者数：男女別



設立から2013年12月までに約16,000名が
イベントやプログラムに参加

ストラテジック・パートナー

最大のインパクトを提供するため、支援企業および運営パートナーと提携

TOMODACHI 運営体制の強化

武田薬品工業株式会社

TOMODACHIイニシアチブは、当団体の運営体制の強化を図る為の寄付金を寄せてくださった、武田薬品工業株式会社に特別な感謝の意を表します。組織が効果的にその使命を遂行するには、専任のスタッフと十分なリソースが必要です。武田薬品からの寄付金により、TOMODACHI世代を育成し、強固で揺ぎない日米関係を構築する優れたプログラムの実行が可能となっています。

TOMODACHI アフラック プログラム

小児がんの研究に携わる日本在住の医師をアフラック米国本社が支援する「アフラックがん・血液病センター」(ジョージア州アトランタ)に派遣し、同地での研究成果をその後の日本での治療・研究に役立ててもらうことを目的とする米国留学助成プログラムです。2013年には、細谷要介医師が選ばれ、米国における最先端の小児がん研究を経験することができました。

TOMODACHI サマー コカ・コーラ ホームステイ研修プログラム

二年目を迎えた本プログラムは、東日本大震災で被災した高校生約120名をワシントンD.C.およびコカ・コーラ本社のあるジョージア州アトランタに派遣しました。その後生徒たちは小グループに分かれ、全米各地のホストファミリー宅に滞在し英語や米国の文化を学び、各地でのボランティア活動にも参加しました。

TOMODACHI GE ヘルスケア・アカデミック・プログラム

二年目を迎えた本プログラムでは、地域協力を通し、東北の医療の現状を改善するために、東北地方にある複数の大学で次世代の医療情報事務職向けの講座や医療関係者、地方自治体向けに、地域医療での連携促進を実現する為の教育セミナーを行いました。

TOMODACHIとメジャーリーグがパートナーシップを継続

アメリカ人と日本人の若者にコミュニケーションとチームワークの重要性を学ぶ機会を与えるために、メジャーリーグとTOMODACHIがパートナーシップを継続することを決定しました。メジャーリーグは野球クリニックの開催、野球観戦チケットの寄付、また野球用具の寄付などを通じてTOMODACHI プログラムの参加者を継続的に支援しています。

TOMODACHI MUFG 国際交流プログラム

二年目を迎えた本プログラムでは、米国カリフォルニア州ロサンゼルス郡、サンディエゴ郡及びオレンジ郡在住の高校生26名が夏期に日本に招待され、二週間の文化交流・教育プログラムに参加し、前年にMUFGプログラムの参加者としてカリフォルニアを訪れた東北の高校生と同地で再会を果たしました。

TOMODACHI-Mitsui & Co. Leadership Program

本プログラムは、産業界または政府系機関から選出された35歳以下の日米の代表団20名が、お互いの国を訪問するものです。一年目となる2013年のプログラムでは貿易、エネルギー、インフラ、そしてテクノロジー分野での日米連携に重点をおきました。米国からの代表団は7月に東京と広島を訪問し、日本からの代表団は9月にワシントンD.C.とシアトルを訪れました。両国のメンバーには、相手国の産業界および政府機関のトップや有望なリーダーたちと交流する機会が与えられました。

J.P. モルガン支援のTOMODACHI NGOリーダーシップ・プログラム

一年目となる本プログラムでは、米国と日本のNGOリーダーが短期交流プログラムやワークショップを通して、将来日本と世界の災害に対応できるよう、アイデアの交換や実習を行いました。日本人のNGOリーダー10名がワシントンD.C.を訪れ、毎年行われるNGOのインターアクション会議に日本のNGOを代表して参加しました。

TOMODACHI サマー ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

二年目を迎えた本プログラムでは、東日本大震災の被災地である岩手、宮城、福島の3県の高校生約100名が、カリフォルニア大学バークレー校での3週間の集中コースに参加しました。参加者は、グローバルリーダーシップ・スキルとコミュニティー・サービスを学んだり自分たちの地域社会に貢献する方法を探求しました。そして、帰国後の2013年9月、プログラムに参加した生徒の代表6名が、アメリカで学んだ経験を東北の復旧・復興にどう活かすのかについてApple Store銀座で発表しました。

TOMODACHI-UNIQLO フェローシップ

一年目となる本プログラムでは、日本のビジネス界およびファッション業界において次世代のリーダーとなる若者に、世界に通用するスキルや経験を習得する機会を提供しました。アメリカの一流教育機関である、スタンフォード大学ビジネススクール、ファッション工科大学、パーソンズ・ニュー・スクール・フォー・デザインで修士課程に取り組む学生3名に対し奨学金が提供されました。

2013年12月、大手企業6社がストラテジック・パートナーとしてTOMODACHIイニシアチブに参画

2013年12月13日、企業6社がストラテジック・パートナーとしてTOMODACHIイニシアチブに参画しました。新たなストラテジック・パートナーは、本田技研工業株式会社、メットライフアリコ生命保険株式会社、プルデンシャル・ファイナンシャル、住友商事株式会社、サントリーホールディングス株式会社、株式会社東芝の6社で、寄付金総額は600万ドル(約6億円)を超えました。寄附金は新たな交流プログラムの創設、若い女性のリーダーに対するサポート、TOMODACHIプログラム参加者同士の継続的なサポートを行うアラムナイネットワークへの支援、留学奨学金の支援、アメリカの一流の音楽学校での奨学金プログラムの立ち上げ及び奨学金提供、日米の科学に対する知識や技術推進をサポートするプログラムなどに使用されます。

TOMODACHI 交流基金プログラム

東北の支援

1. ダラス・仙台 ヤング アンバサダーズ プログラム
2. 宮城―ニューオリンズ青少年ジャズ交流派遣事業
3. 南カリフォルニア・福島 ユース文化交流プログラム
4. TOMODACHI P5 東北アントレプレナーサマープログラム
5. TOMODACHI 津波救援活動プロジェクト
6. TOMODACHI 米日ユース交流プログラム
7. セントルイス・石巻 草の根交流プログラム
8. ハワイ・レインボーキッズ・プロジェクト
9. 感環キッズスポーツ・キャンプ・オブ・アメリカ
10. 日米学生会議
11. ドラッカー日本人次世代リーダーズ プログラム
12. サンディエゴ/ティフアナ・大船渡 少年野球交流プログラム
13. ヤング・アメリカンズ東北ツアー

TOYOTA　Mitsubishi Corporation　HITACHI

TOMODACHI交流基金は、三菱商事株式会社、トヨタ自動車株式会社ならびに株式会社日立製作所から多大な支援を得て2012年4月に設立されました。2013年には、13もの多様なプログラムが実行され、参加者にとって忘れられない経験や、人生に大きな影響を及ぼす体験を提供することができました。これらのプログラムは、全米の日米協会を強化し、姉妹都市関係を活性化させ、小規模な団体が現存のプログラムを継続していくことができる機会を提供するなどして草の根運動に力を与えてきました。また、自らの地域社会に希望を求めていた多くの若者たちの人生に大きな影響を与えています。

一般基金プログラム

東北と、東北を超えて広がる支援

1. TOMODACHI日米交流野球大会
2. TOMODACHI MetLife Women's Leadership Program
3. TOMODACHI 新生リーダープログラム
4. TOMODACHIサマー 英語研修プログラム
5. 第3回米国大使館・慶応湘南藤沢キャンパス(SFC)・TOMODACHI アントレプレナーシップ・セミナーとビジネスプランコンテスト
6. TOMODACHI―カリスバーク 第23回日米草の根交流サミットしまね大会
7. TOMODACHI in San Diego 2013
8. 2013夏 ELS大学準備プログラム × TOMODACHI奨学生
9. TOMODACHI クリーンエネルギープログラム
10. H-LAB
11. TOMODACHI × NIKE GO GIRL PROJECT
12. ヤング・アメリカンズミニワークショップツアー
13. TOMODACHI-Frogs jr.プロジェクト
14. TOMODACHI 未来仙台市プレイベント2013 「To world from Sendai」
15. TOMODACHI フェローズ・プログラム
16. TOMODACHI サマー・ビヨンドトゥモロー 米国プログラム
17. TOMODACHI 2013 春休みホームステイプログラム
18. TOMODACHI クリントン・グローバル・イニシアティブ大学 2013

協賛者・協賛企業ならびに支援者・支援企業からの寄附金は、教育、スポーツ、音楽、芸術、指導者育成分野でのTOMODACHIプログラムの企画と実行に充当されます。プログラムには、参加者を東北地方出身者から募集するものや東北地方で開催されるものの他に、沖縄、大阪、東京などの日本の主要都市と全米各地で開催されるものがあります。

TOMODACHI 世代の声

TOMODACHIイニシアチブは、日米関係の強化に全力的に取り組み、日米の文化を尊重し、より安定した世界を実現するために必要となるグローバルな技能と視点を備えた日米の若者リーダーからなる「TOMODACHI世代」の育成を目指しています。

「2013年のTOMODACHI 交流プログラムは、忘れることのできない経験です。数か月もの間プログラムのことを思い起こし考えた結果、アニメと日本語を勉強しているので、いつか日本へ留学しようと決めました。現在、高校2年生なので、進路についての準備が本格的に始まりましたが、日本との交換留学プログラムがある大学にしか注目していません。さらに、2020年の東京オリンピックでは是非手伝いをしたいと思います。

TOMODACHI プログラムに参加して日本へ行っていなければ、こんな夢を考えることすらなかったと確信しています。」

クリスティーン・カミール・ジョーンズ　TOMODACHIサマー2013 MUFG 国際交流プログラム

「僕はもっと助けになれると思います。アメリカの真のボランティア精神に触れたことで、難民救済と国際開発を勉強し、将来世界中の自然災害から復興計画をサポートしたいという夢ができました。」

細田 舜司（ホソダ シュンジ）　TOMODACHIサマー2013 コカ・コーラ ホームステイ研修プログラム

「このプログラムは私の考え方を変えました。私が持っていた考えの壁を壊し、知らなかった道を教えてくれました。さらに、たくさんの大好きな人と出会わせてくれました。
私の将来の夢は映画監督や演出家になって世界中の人たちにちょっとでも多くの幸せをプレゼントすることです。この夢を語ったところ、あるチャンスを頂きました。私は、2013年11月に行われた「ツール・ド・東北 2013 in 宮城・三陸」の公式映像を担当しました。私がTOMODACHI サマー2013 ソフトバンク・リーダーシップ・プログラムというプログラムに参加した時に出会ったプロの映像制作の方に「何か企画してみない?」と言われたことがきっかけでした。企画から編集作業、発表、取材。全ての過程に関わらせていただきました。タイトルは「ラブ♡セン～ツール・ド・東北高校生 ver.～」です。東北の高校生達の地元愛、ラブを宣言します!というコンセプトで企画しました。

**東北に住む私達高校生は、とても熱い情熱を持っています。
東北がさらに最高の場所となるように、その情熱を生かそうとしています。**

普段、なかなか前に出てこない高校生ですが、震災をきっかけに東北が大注目されている今だからこそ、「ツール・ド・東北 2013 in 宮城・三陸」を通して、東北の高校生達がどれだけ熱い情熱を持っているのかを伝えよう!というところから始まりました。」

三品 万麻紗（ミシナ マアサ）　TOMODACHIサマー2013 ソフトバンク・リーダーシップ・プログラム

「TOMODACHI-Mitsui & Co. Leadership Program については、その構成や計画のレベルの高さに感銘しました。私たち参加者はみな日米関係に非常に関心が高く、TOMODACHI イニシアチブに今後も役立ち、このプログラムを通して真の変革を生み出す力となりたいと思っています。」

ケイ・フクナガ　TOMODACHI-Mitsui & Co. Leadership Program 2013

「アメリカで経験した研修では、人道的支援を行う際の様々な方法について学びました。具体的には、何が必要かを調査するニーズアセスメントや情報共有方法を学びました。その経験をフィリピン台風の医療支援で実践し、現地の被災前と被災後の医療システムを調べ、被災者へのインタビューから医療において何が必要かを調査し、その結果を踏まえた情報共有ツールを作ることができました。

**アメリカで学んだことを、
フィリピンの被災者支援に生かすことができました。」**

鈴木 健介（スズキ ケンスケ）　J.P. モルガン支援のTOMODACHI NGO リーダーシップ・プログラム

「このプログラムは私の人生を変えてくれました。訪れたサンディエゴは本当にいい人ばかりで、私達を温かく歓迎していただき、ホームステイした家では私の震災体験を涙を流しながら親身に聞いてくださりました。自分の悲しい体験を共有できたことがなによりも嬉しかったです。
また、大学を見学したりサンディエゴで働く日本人女性に出会ったりしたことでとても刺激をうけ、

サンディエゴの大学にいくことを決断しました。

不安でいっぱいですが、自分がどこまで成長できるかとても楽しみです。

**このきっかけをつくってくれた TOMODACHI プログラムには
本当に感謝しています。」**

小田島 礼佳（オダシマ アヤカ）　TOMODACHI in San Diego 2013

「TOMODACHI からの支援を受けた第65回日米学生会議（JASC）での米国側の議長として、地元の人たちとの人間関係を築くことの重要性を学ぶ機会を得ることができたことは、TOMODACHIの恩恵によって実現できたことと深く感謝しています。岩手県各地を旅して、復興と経済再生についてのパネルディスカッションの司会役を務めたり、特産品で有名な地元農家を訪ねて、その将来に深刻な懸念を抱いたりしました。岩手の一般家庭でホームステイし、コミュニティフォーラムで、どのように岩手の魅力を引き出すかについて発言することができ、地元の人々と直接触れ合うことができたのもTOMODACHI の支援のお蔭です。」

ポール・ヤラベ　第65回日米学生会議（JASC）

TOMODACHI プログラム経験者対象のプログラムとイベント

TOMODACHIイニシアチブは、プログラム参加経験者が、プログラムを終えそれぞれの地域に戻った後も長期にわたり交流を維持できるような取り組みを行っています。TOMODACHIプログラム経験者同士のつながりを強化し、地域支援を行い、プログラム経験者がそれぞれのプログラムから学んだ技能を向上させることを目的とした特別なイベントや活動をし、彼らの夢の実現のために深く関与を続ける努力をしています。
以下は、TOMODACHIプログラム経験者向けに実施されたプログラムです。

春

TOMODACHI ビヨンドトゥモロー・グローバル・リーダーシップ・アカデミー

米国で開催されたTOMODACHI サマープログラム 2012 に参加した東北出身の学生70名が選抜され、東京で行われた3日間のワークショップに参加しました。ワークショップ最終日に行われたランチョンでは、参加した学生たちが、それぞれの地域にどのような貢献ができるかについて、約200名の政府関係者とビジネス界で活躍するリーダーを前に発表しました。（3月）

ビル・クリントン元大統領とディスカッション

2013 年 11月、ビル・クリントン元米大統領が、東京で開催されたグローバル・オピニオンリーダーズ・サミットでの基調講演に先がけて、TOMODACHI 世代の日米の学生14名と交流しました。
30分間にわたるクリントン元大統領との面談で、学生たちは、政界情勢、次世代が直面する問題、若者の政治参加、女性のリーダーシップについて意見交換を行いました。（11月）

ケネディ米国大使、東北地方を訪問し、TOMODACHI プログラムに参加したNPO団体のリーダーと懇談

2013年11月、キャロライン・ケネディ米国大使が、大使着任後初の日本国内の訪問先である東北地方を訪れ、TOMODACHIプログラムに参加したNPO団体のリーダーや、宮城県南三陸町の中瀬町仮設住宅に住む女性たちと懇談しました。この女性たちが参加している編み物プロジェクトは、TOMODACHIプログラムを経験したNPOリーダーが始めたプロジェクトで、女性の社会参加を促し起業家を育成し、宮城県の女性のための小規模ビジネスモデルを推進するものです。（11月）

夏

ケリー国務長官と TOMODACHI 世代の対話

ジョン・ケリー米国務長官が、TOMODACHI 世代の学生20名と、米国大使公邸で懇談しました。この懇談でケリー国務長官は、日米の学生の国際交流、環境への責務、起業家精神、イノベーションなどのトピックを取り上げ様々な可能性について学生たちの意見に耳を傾けました。（4月）

TOMODACHI プログラム経験者、未来の日本人リーダーのためのドラッカー・プログラムに参加

本プログラムは、TOMODACHIプログラム経験者の高校生10名に、カリフォルニアのクレアモントカレッジで開催された、9日間のドラッカー手法に基づくマネジメントスキル・プログラムに参加する機会を提供しました。高校生たちは、社会奉仕活動プロジェクトを考案し実行することについて学び、それを活用しました。（7月）

秋

冬

ケネディ米国大使と米日カウンシルのアイリーン・ヒラノ・イノウエ会長を交えて行われた TOMODACHI ラウンドテーブル・ディスカッション

東北地方出身のTOMODACHIプログラム経験者９名が、キャロライン・ケネディ米国大使と米日カウンシルのアイリーン・ヒラノ・イノウエ会長を交えて大使公邸で行われたTOMODACHIラウンドテーブル・ディスカッションに臨みました。参加学生は、自身の背景を紹介し、様々なTOMODACHIプログラムに参加して得た経験を仲間たちと共有しました。（12月）

高まるTOMODACHIの広がり

TOMODACHIに対する関心を高め、日米の若者による交流の重要性を広く伝えることに尽力してくださる数多くの企業パートナーに深く感謝しています。
以下は、その一例です。

TOMODACHIロゴを機体にあしらった全日空機

日本各地のローソンとファミリーマート2万店を超えるコンビニ店頭に設置されたTOMODACHI募金箱

ウェンディーズ・ジャパンで、期間限定のTOMODACHIバーガーが販売され、その売り上げがTOMODACHIに寄付されました。

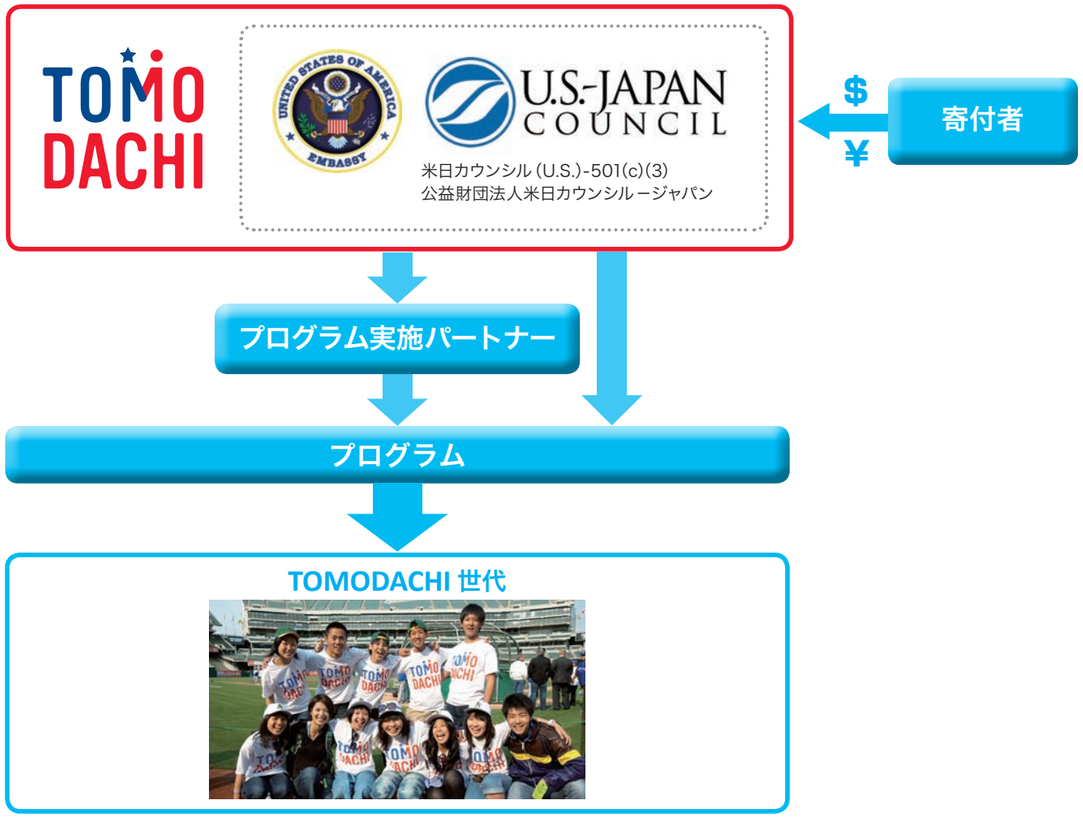
レディー・ガガが所有していたハローキティ人形がチャリティー・オークションに出品され、落札代金がTOMODACHIに寄付されました。

TOMODACHI プログラム実施支援パートナー

TOMODACHIは、若者たちに人生の転機となる体験をしてもらうため、数多くのパートナーの協力を得ています。2013年のプログラム実施にあたり、以下のパートナーに助成金を交付しました。

- 一般社団法人ファイブプラネッツ
- 特定非営利活動法人エイドタカタ
- アメリカン・カウンシルズ・フォー・インターナショナル・エデュケーション（ACIE）
- アトラス・コープ
- アユサインターナショナル
- ドラッカーインスティテュート
- 社団法人日本国際生活体験協会（EIL）
- 一般財団法人教育支援グローバル基金
- 国際教育研究所（IIE）
- 国際学生会議（ISC）
- ハワイ日米協会
- サンディエゴ/ティフアナ日米協会
- ニューヨーク日米協会
- じぶん未来クラブ
- 財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念国際草の根交流センター（CIE）
- マーシー・コープス
- 感環自然村
- 慶応大学湘南藤沢キャンパス
- 全米日米協会連合（NAJAS）
- オハイオ大学
- オルフェウス室内管弦楽団
- Ryukyufrogs（リュウキュウフロッグス）
- ティピティナス財団

TOMODACHI 組織体制



米日カウンシル、在日米国大使館ならびに TOMODACHI イニシアチブ

米日カウンシル (U.S.) および米日カウンシル－ジャパンは、在日米国大使館と協力し、官民パートナーシップである TOMODACHI イニシアチブを管理・運営します。プログラムの開発と管理、コミュニケーションと普及活動、マーケティング、活動資金調達、寄付者との折衝などを主な活動としています。

米日カウンシル(U.S.)は、ワシントンD.C.に本部を置く501(c)(3)非営利非課税組織で日米のあらゆる世代の人と人をつなぐ活動をする団体です。

米日カウンシルージャパンは、東京で設立された公益財団法人です。米日カウンシルージャパンと米日カウンシル (U.S.) は別組織で、それぞれ独立した理事会によって運営されますが、双方が緊密に協力して TOMODACHI を運営しています。寄付者はその拠点が米国、日本のいずれを問わず、TOMODACHI イニシアチブに寄付した場合、日米それぞれの非営利組織に関する法律の定める範囲内で税の優遇措置を受けることができます。

以下の財務報告は、TOMODACHI イニシアチブ設立以降の要約財務報告と、米日カウンシルージャパンおよび米日カウンシル (U.S.) の、貸借対照表と損益計算書の要約を示したものです。米日カウンシルージャパンの監査済み財務諸表は、www.usjapantomodachi.org/ja で、また米日カウンシル(U.S.)の監査済み財務諸表は www.usjapancouncil.org で閲覧できます。

TOMODACHI 決算概要

米日カウンシル (連結)
TOMODACHI 累積寄附額と支出 (各年)

(米ドル)

TOMODACHI 寄付金と定期的支払を約束した寄付金	設立[1]- 12/31/2012	2013	2014 - 2017 (確約)	合計
米日カウンシルージャパン	$ 4,090,374	$ 5,229,278	$ 5,884,258	$ 15,203,910
米日カウンシル (U.S.)	7,294,785	3,089,725	1,125,150	11,509,660
現物経費 (U.S. および ジャパン)	1,909,300	871,000	1,465,000	4,245,300
寄付金および定期的支払を約束した寄付金の総額	**$ 13,294,459**	**$ 9,190,003**	**$ 8,474,408**	**$ 30,958,870**

TOMODACHI 支出	設立[1]- 12/31/2012	2013	2014 - 2017 (確約)	合計
プログラムおよびプログラムサービス経費				
米日カウンシルージャパン	$ 466,407	$ 2,194,195	$ 10,699,171	$ 13,359,773
米日カウンシル (U.S.)	4,120,825	3,117,962	3,265,440	10,504,227
プログラムおよびプログラムサービス経費 - 既払 / 未払	4,587,232	5,312,157	13,964,611	23,864,000
管理と資金調達				
米日カウンシルージャパン	116,602	132,431	Footnote[2]	249,033
米日カウンシル (U.S.)	178,936	145,515	Footnote[2]	324,451
管理と資金調達	295,538	277,946	Footnote[2]	573,484
現物経費 (U.S. および ジャパン)	1,909,300	871,000	1,465,000	4,245,300
経費合計	**$ 6,792,070**	**$ 6,461,103**	**$ 15,429,611**	**$ 28,682,784**

1 TOMODACHI は 2011年秋に設立されました。
2 管理と資金調達経費は まだ発生していません。

TOMODACHI 決算概要

米日カウンシル－ジャパン
日本における公益財団法人

TOMODACHI 財政状況 －要約

（米ドル）

	2013年	2012年
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	$ 6,816,023	$ 3,854,380
売掛金	-	129,267
その他の流動資産	4,083	-
固定資産	890	-
総資産	**$ 6,820,996**	**$ 3,983,647**
負債と純資産		
負債		
その他の流動負債	$ 3,975	$ 1,781
買掛金	246,371	313,868
純資産	6,570,650	3,667,998
負債純資産合計	**$ 6,820,996**	**$ 3,983,647**

TOMODACHI 収支要約

（米ドル）

	2013年	2012年
収入		
企業からの TOMODACHI 寄付金	$ 5,204,133	$ 4,074,581
個人からの TOMODACHI 寄付金	24,700	15,778
利子所得	445	15
収入合計	**$ 5,229,278**	**$ 4,090,374**
支出		
プログラム および プラグラムサービス	$ 2,194,195	$ 466,407
管理と資金調達	132,431	116,602
プログラム経費合計	$ 2,326,626	$ 583,009
純資産変動額合計	**$ 2,902,652**	**$ 3,507,365**

米日カウンシル－ジャパンの監査済み財務諸表は www.usjapantomodachi.org/ja で閲覧できます。

米日カウンシル (U.S.)
501(c)(3) 非営利非課税組織

TOMODACHI 財政状況

（米ドル）

	2013年	2012年
資産		
流動資産		
現金および現金同等物	$ 1,120,320	$ 536,247
売掛金	2,369,571	2,675,515
その他の流動資産	-	-
固定資産	2,335	
総資産	**$ 3,492,226**	**$ 3,211,762**
負債と純資産		
負債		
その他の流動負債	$ -	$ -
買掛金	454,216	-
純資産	3,038,010	3,211,762
負債純資産合計	**$ 3,492,226**	**$ 3,211,762**

TOMODACHI 収支要約

（米ドル）

	2013年	2012年
収入		
企業からの TOMODACHI 寄付金	$ 3,078,599	$ 6,431,828
個人からの TOMODACHI 寄付金	11,062	45,140
利子所得	64	-
収入合計	**$ 3,089,725**	**$ 6,476,968**
支出		
プログラム および プラグラムサービス	$ 3,117,962	$ 4,120,825
管理と資金調達	145,515	178,936
プログラム経費合計	$ 3,263,477	$ 4,299,761
純資産変動額合計	**$ (173,752)**	**$ 2,177,207**

米日カウンシル (U.S.) の監査済み財務諸表は www.usjapancouncil.org で閲覧できます。

TOMODACHI 寄付者

（2013年12月31日現在）

ストラテジック・パートナー（100万ドル以上）

Aflac
Coca-Cola
GE
HONDA The Power of Dreams
J.P.Morgan
MAJOR LEAGUE BASEBALL
MetLife Alico メットライフ アリコ
Mitsubishi Corporation
三井物産株式會社
三菱UFJフィナンシャル・グループ MUFG
Prudential Bring Your Challenges
SoftBank
Sumitomo Corporation
SUNTORY
武田薬品工業株式会社
TOSHIBA Leading Innovation
TOYOTA
ユニクロ UNIQLO

協賛者 / 協賛企業（10万ドルから100万ドル）

AmericanAirlines
ANA
Bank of America Merrill Lynch
BOEING
Chevron
DELTA
あなたと、コンビに、FamilyMart
Goldman Sachs
HITACHI
ITOCHU
JAPANESE CULTURAL AND COMMUNITY CENTER OF NORTHERN CALIFORNIA
EAST JAPAN RAILWAY COMPANY
kikkoman
KPMG cutting through complexity
LAWSON
MITSUBISHI HEAVY INDUSTRIES, LTD.
Morgan Stanley
Panasonic
PASONA
Rakuten
salesforce
SMBC SUMITOMO MITSUI BANKING CORPORATION
UNITED

支援者 / 支援企業（1万ドルから10万ドル）

- アイウエオフィス
- アンダーソン・毛利・友常法律事務所
- アークヒルズクラブ
- 渥美坂井法律事務所・外国法共同事業
- CKサービス・コーポレーション（カルバン・クライン）
- 公益社団法人企業市民協議会（CBCC）
- 第一リアルター株式会社
- デュエイン・クリス
- ELS エデュケーショナルサービシズ
- フェデックスコーポレーション
- 株式会社フォーシーズ
- ギャガ株式会社
- 株式会社ホテルオークラ東京
- 株式会社帝国ホテル
- 日本航空株式会社
- 公益財団法人公益法人協会
- 京セラ株式会社
- 株式会社マッキャン・ワールドグループ・ホールディングス
- ミレニアム・プロミス・ジャパン
- 三井住友海上火災保険株式会社
- 株式会社ナイキジャパン
- オリック・ヘリントン・アンド・サトクリフ法律事務所
- プロスカウアー・ローズ法律事務所
- 株式会社セガ
- 株式会社スペクター・コミュニケーションズ
- St. Timothy's School（セントティモシースクール）
- TOTO株式会社
- トライコー株式会社
- 名古屋ウォーカソン（在日米国商工会議所）
- ウォーリー与那嶺財団
- ウェンディーズ
- YKK株式会社

共に TOMODACHI 世代の育成に投資しましょう！

TOMO
DACHI

facebook.com/USJapanTOMODACHI

twitter.com/TOMODACHI

https://www.youtube.com/user/USJapanTOMODACHI

詳細は：**www.usjapantomodachi.org/ja**